

環境経営レポート



対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日
発行日 2020年 7月 1日
改定日 2020年 11月 14日

有限会社 田原自動車
マツダオートザム大田



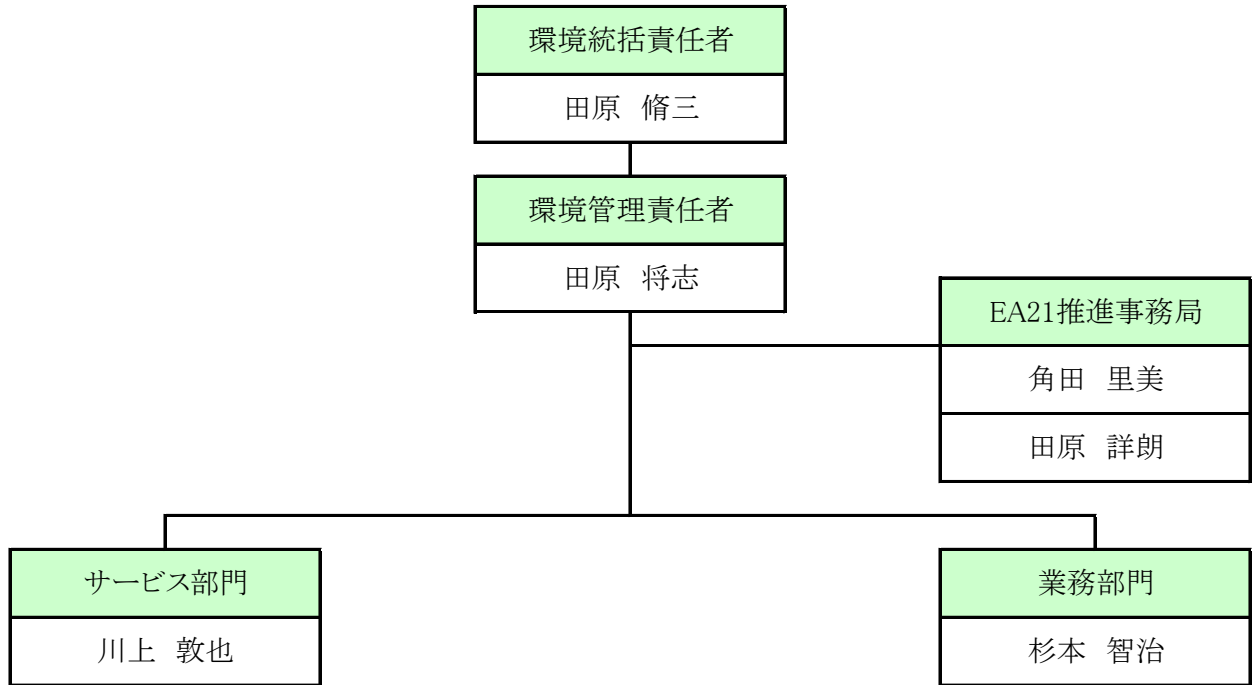
1 組織の概要 2 対象の範囲



事業社名及び代表者		所在地													
有限会社 田原自動車 (マツダオートザム大田) 代表取締役会長 田原 脩三		〒 694-0063 島根県大田市大田町吉永1591-1													
事業内容		事業の規模													
新車・中古自動車販売 自動車整備(車検・点検・修理) 損害保険の販売(自動車、火災、傷害) 自動車レンタル、リース		<table border="1"> <tr> <td>従業員数</td> <td>12 名</td> </tr> <tr> <td>社屋床面積 (サービス工場)</td> <td>304 m²</td> </tr> <tr> <td>社屋床面積 (ショールーム)</td> <td>120 m²</td> </tr> <tr> <td>新車販売台数</td> <td>※ 121 台</td> </tr> <tr> <td>中古車販売台数</td> <td>※ 77 台</td> </tr> <tr> <td>年間整備入庫台数</td> <td>※ 3,847 台</td> </tr> </table> ※は2018年度実績		従業員数	12 名	社屋床面積 (サービス工場)	304 m ²	社屋床面積 (ショールーム)	120 m ²	新車販売台数	※ 121 台	中古車販売台数	※ 77 台	年間整備入庫台数	※ 3,847 台
従業員数	12 名														
社屋床面積 (サービス工場)	304 m ²														
社屋床面積 (ショールーム)	120 m ²														
新車販売台数	※ 121 台														
中古車販売台数	※ 77 台														
年間整備入庫台数	※ 3,847 台														
環境管理責任者及び担当者															
環境管理責任者	取締役社長	田原 将志													
EA21環境推進事務局	サービス工場担当	田原 詳朗													
	ショールーム担当	角田 里美													
連絡先	TEL	: 0854-82-5688													
	FAX	: 0854-82-0337													
	URL	: http://www.maz-oda.com/													
	e-mail	: maz-oda@mazda-autozam.jp													



実施体制



担当者	役割
環境統括責任者 <会長>	環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者 <ul style="list-style-type: none"> ・ EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境目標の設定を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 <役員・業務/サービス部門長>	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する (※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲) <ul style="list-style-type: none"> ・ EMSの構築、実施、管理 ・ 環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境活動レポートの確認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全社の環境取組を推進する <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境取り組みの指導・支援 ・ 環境データの集計・取りまとめ
部門長	全社の環境取り組みを推進する <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当部門の環境取り組みの責任者
全社員	積極的にEA21活動に参加する

基本理念

有限会社田原自動車（マツダオートザム大田）は、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

行動指針

- 1 環境に関する法規制を遵守します。
- 2 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
- 3 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
- 4 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再生利用活動を推進します。
- 5 環境に配慮した製品の提供及びグリーン購入を推進します。
- 6 環境経営方針を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
- 7 全従業員にこの環境経営方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、公表します。

2018年 4月 1日
有限会社 田原自動車
(マツダオートザム大田)

代表取締役会長 田原 脩三

4 環境経営目標



＜マツダオートザム大田の環境経営目標と取り組み方針＞

自動車を扱う企業の責任として、「電気使用量」「ガソリンの使用量」を削減し、「SKYACTV搭載機種」「ECOオイル」の拡販を行い、環境に負荷をかけない企業を目指す。

1. 環境負荷等の現状

環境への負荷等		単位	2016年度	2017年度	2018年度
			(2016/4~2017/3)	(2017/4~2018/3)	(2018/4~2019/3)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	44,143	45,253	42,722
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	1,082	1,105	1,552
	産業廃棄物	kg	3,998	4,404	3,786
水使用量	上水	m ³	376	362	374
製品およびサービスにおける環境配慮	SKYACTV販売台数	台	57	54	55
	ECOオイル在庫台数	台	520	643	500

※電力購入の二酸化炭素排出係数(中国電力 平成21年度):0.000628t-CO₂/kWh

2. 環境目標(中期)

当社は毎年、以下の項目について削減目標を掲げ、環境改善活動を推進します。

環境経営目標項目		単位	基準値 (2018年度)	目標		
				2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	総量	kg-CO ₂	42,722	42,295	41,868	41,440
	電力	kg-CO ₂	21,240	21,028	20,815	20,603
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
自動車燃料	kg-CO ₂	21,482	21,267	21,052	20,838	
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	1,552	1,536	1,521	1,505
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
産業廃棄物	kg	3,786	3,748	3,710	3,672	
		削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%	
水使用量	上水	m ³	374	370	367	363
			削減率	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
製品およびサービスにおける環境配慮	SKYACTV販売台数	台	55	69	83	96
			増加率	25%	50%	75%
	ECOオイル在庫台数	台	500	600	700	800
			増加率	20%	40%	60%
ECOバッテリー販売台数	台	136	170	204	238	
		増加率	25%	50%	75%	
ECOタイヤ販売台数	本	322	338	354	370	
		増加率	5%	10%	15%	

※電力購入の二酸化炭素排出係数(中国電力 平成21年度):0.000628t-CO₂/kWh

※トルエン、キシレンの使用はあるがスプレー缶であり、使用量も少量であるため適正な管理をすることで環境経営目標、環境経営計画とする。

5 環境経営計画



2019/04～2020/03

■購入電力削減

- ①電気メーターの確認・記録
- ②不要な照明の消灯確認
- ③サービス工場エアの管理

■化石燃料使用量削減

- ①燃料代の確認・記録
- ②代車記録簿、代車誓約書 適正運用の啓発
- ③デスクネットの適正運用による代車貸し出しの削減
- ④サービス時間予約率UPによる代車貸し出しの削減
- ⑤事前見積100%実施による代車貸し出し時間の削減
- ⑥安全運転の啓発による社用車の燃費向上

代車誓約書、車検事前見積、時間予約来店率をプロセス指標として一括管理を行った。



代車にもSKYACTIV車両やキャロルECOを導入してお客様のガソリン代負担も軽減

■一般廃棄物排出量削減

- ①紙使用量の確認・記録
- ②コピー使用枚数の削減
- ③段ボール置き場の整理
- ④空き缶の整理
- ⑤ペットボトルの整理
- ⑥弁当がら、カップラーメン容器の削減
- ⑦廃棄物委託業者の書類管理
- ⑧休憩室の不要物整理

■産業廃棄物の削減

- ①産業廃棄物の確認・記録
- ②適正な分別処理

■水使用量の削減

- ①水使用量の確認・記録
- ②継続的な節水活動の啓発

■製品およびサービスにおける環境配慮

- ①パックメンテナンス加入の促進
- ②ECOタイヤ販売拡販
- ③ECOバッテリー販売拡販
- ④SKYプランの拡販
- ⑤パックメンテナンス車検時プランの拡販



PDM提案のためのパンフレット活用並びに、研修の実施



メーカー作成のE-ラーニングの契約を行い社員全員PDM、販売スキルの習得を行っている。

1. 環境経営目標の達成状況と評価

実施期間(2019年04月～2020年03月)の環境経営実績は次の通り

環境経営目標項目	単位	2018年度 実績	期間中の 目標値	実績				
				2019年度	目標達成率%	前年比%	達成状況	
温室効果ガス排出量	総量	kg-CO ₂	42,722	42,295	48,855	86.6	114.4	R
	電力	kg-CO ₂	21,240	21,028	19,766	106.3	93.1	G
	自動車燃料	kg-CO ₂	21,482	21,267	29,090	73.1	135.4	R
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	1,552	1,536	1,157	132.8	74.5	G
	産業廃棄物	kg	3,786	3,748	7,433	50.4	196.3	R
水使用量	上水	m ³	374	370	359	103.1	96.0	G
製品およびサービスにおける環境配慮	SKYACTIV販売台数	台	55	69	54	78.3	98.2	R
	ECOオイル在庫台数	台	500	600	530	88.3	106.0	R
	ECOバッテリー販売台数	台	136	170	135	79.4	99.3	R
	ECOタイヤ販売本数	本	322	338	488	144.4	151.6	G

評価・・・二酸化炭素排出量の多くの割合を占める電力使用で目標を達成できた反面、自動車燃料で目標を下回った。

※電力購入の二酸化炭素排出係数(中国電力 平成21年度):0.000628t-CO₂/kWh

※達成状況欄の「G」は目標達成率100%、「Y」は目標達成率90%以上、「R」は目標達成率90%未満を示します。

2. 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

■1-二酸化炭素排出量の削減	
①電力使用量	目標達成率 106.3%/前年比 93.1%
評価	次年度の環境経営目標及び環境経営計画
G ◆ 不要な照明の消灯確認 節電意識が定着している。 ◆ サービス工場エアの管理 エアの適正管理が定着している。	引き続き節電に努める。 引き続き適正管理に努める。
②燃料使用量	目標達成率 73.1%/前年比 132.8%
R ◆ 代車記録簿、代車誓約書 適正運用の啓発 代車誓約書の記入徹底を図った。昨年の41.9%→56.5%に改善。 ◆ デスクネットの適正運用による代車貸し出しの削減 一部に作業指示書との齟齬が見られる。 ◆ サービス時間予約率UPによる代車貸し出しの削減 有償整備時間予約来店率目標昨年の54.8%→51.7%に低下。 ◆ 事前見積100%実施による代車貸し出し時間の削減 実績50.8%にとどまる。 ◆ 安全運転の啓発による社用車の燃費向上 ゆっくりスタート 早めのブレーキが定着	全数取得を目指す。 正確な入力の意識付けを啓発していく。 目標の79.8%を目指す。 100%目指し改善を行う。 引き続き安全運転に努める。

■2-廃棄物排出量の削減		
①一般廃棄物の削減 目標達成率132.8%/前年比74.5%		
G	<ul style="list-style-type: none"> ◆ コピー使用枚数の削減 担当者にメールアドレスを設定、メール連絡で印刷量を削減。 ◆ 段ボール置き場の整理 箱解体の徹底を行っている。 ◆ 空き缶の整理 昨年の58.3Kg→50.2Kgに削減 ◆ ペットボトルの整理 昨年の15.6Kg→19.0Kgに削減 ◆ 弁当がら、カップラーメン容器の削減 持ち帰りが定着している。 ◆ 廃棄物委託業者の書類整理 専用ファイルに一覧表をまとめている。 ◆ 休憩室不要物の整理 週1回、日曜朝に清掃を行っている。 	<p>引き続き、一般廃棄物削減を図る。</p> <p>部販からの輸送を通箱にできないか検討する。</p> <p>引き続き削減に努める。</p> <p>引き続き削減に努める。</p> <p>引き続き持ち帰りを推進する。</p> <p>引き続き月1回の確認を行う。</p> <p>引き続き週1回の清掃を行う。</p>
②産業廃棄物の削減 目標達成率50.4%/前年比 196.3%		
R	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 分別と適正処理 高い意識を持って実行されている。タイヤ販売の増加で廃棄量は増加した。 	引き続き、産業廃棄物削減を図る。
■3-水使用量の削減 目標達成率 103.1%/前年比 96.0%		
G	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 継続的な節水活動の継続 節水の意識が定着している。 	引き続き節水に努めるとともに月1回の節水の啓発活動を行う。
■4-製品およびサービスにおける環境配慮		
①SKYACTIV拡販 目標値達成率78.3%/前年比 98.2%		
R	<ul style="list-style-type: none"> ◆ SKYACTIV車の販売促進 消費税増、コロナウイルスの影響により後半大きく失速した。 	<p>TSMをまわして増販を図る。</p> <p><small>※TSMはトレードサイクルマネジメントのことでマツダの拡販プログラムの総称</small></p>
②ECOオイルの拡販 目標達成率 88.3%/前年比 106.0%		
R	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ECOオイルの販売促進 前年比106.0%と販売を伸ばしたが目標には大きく届かなかった。 	<p>引き続きバックDEメンテの販売を促進し、拡販を図るとともに、他銘柄のお客様にも積極的に販売を行う。</p> <p><small>※バックDEメンテとはメンテナンスパックの名称</small></p>
③ECOバッテリーの拡販 目標値達成率 79.4%/前年比 99.3%		
R	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ECOバッテリーの販売促進 前年とほぼ同数、全体としては高止まりしている。 	バックDEメンテ強化で、4年以上経過したバッテリー代替え促進を図る。
④ECOタイヤの拡販 目標値達成率 88.1%/前年比 89.7%		
G	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ECOタイヤの販売促進 社内キャンペーン等で社全体で販売を促進、実績に表れた。容易に見積もれるタブレットも導入した。 	ロープレ等実施して購入促進を図る。

※環境経営目標の基準は前年度とし、環境経営目標ごとに削減増加率を定める。

1. 環境関連法規等の遵守状況の評価

環境関連法規	要求事項	評価の結果
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	遵守
浄化槽法	浄化槽設置の届け出 法定点検の実施	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検の実施 記録の保存	遵守

2. 違反、訴訟の有無

環境関連法規制への違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。
また、訴訟等についても、1件もありませんでした。

9 代表者による全体の評価及び見直し



対象事業所	マツダオートザム大田
活動期間	2019年04月～2020年03月

作成者	田原将志
-----	------

見直し 関連情報	項目	確認	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	2 環境目標及び目標達成状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	消費電力の削減に効果がみられる一方、自動車燃料消費が大きく悪化している。
	3 環境活動計画及び取組実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	社内の活動は定着しつつある。PDCAをしっかりと回すことが肝要になっている。
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	すべて遵守されていた。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	苦情等の事例なし。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	7 取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	8 前回指示事項への取組結果	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	前回改善を行った点は概ね実施されている。結果に現れない部分があるのは残念である。

評価者	会長 田原 脩三	実施日	2020年6月25日
-----	----------	-----	------------

目標達成した項目、未達の項目の2極化がみられる。マツダエクセレントやトレードサイクルマネジメントも活動内容に入れたことで目標に対する結果だけを重視して目的が不明瞭になっていないか今一度活動を見直していただきたい。

※マツダエクセレントはCS向上のための社内活動の名称※トレードサイクルマネジメントはマツダの拡販プログラムの総称

代表者による 全体評価・見直し	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1 環境方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	2 環境目標	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	3 環境活動計画・取組項目	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	4 実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	5 その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	6 その他(外部への対応)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	